（昭和30年6月15日第三種郵便物認可）

号外

LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100－8910
東京都千代田区永田町 1－11－23
電話 東京 03（3581）6211（代表）
定価1部 105円（税込み）
＜毎週火曜日発行＞
自由民主党ホームページ URL http://www.jimin.jp/

“ふるさと活性化―挑む”

衆議院議員
谷川やいち
新春特集号

いま必要なものは豊かな経験と確かな政治力!!

「景気対策、雇用開発で活力あるふるさとづくり」を推進している谷川弥一衆議院議員は、現在、自民党総務副会長をはじめ、衆議院農林水産委員会、海賊・テロ対策特別委員会などで、精力的に活動しています。昨年10月23、24日には、清和政策研究会町村信孝会長やメンバーらと地元長崎県の五島市を視察し、市議会議員の陳情を受けて、尽力することを約束致しました。政治家として地元長崎を活性化させるため、日々活動中の谷川弥一衆議院議員を特集します。

ごあいさつ

昨年3月11日に発生した東日本大震災により、亡くなられた方々に哀悼の意を表し、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

あの日より、私たちは多くの被災者の皆様から、強く美しい日本人の心を学ばせて頂きました。自らの不足をおいて相手を思いやる姿や、困難の中にあっても喜びを見出そうとする笑顔に、多くの方々が心打たれ、日本の真の強さをお感じになられたことと思います。

輝かしい平成24年の新春をご家族と共にお健やかにお迎えのことと存じます。地元長崎3区の皆様をはじめ、多くの方々に大変お世話になり、改めて心から感謝申し上げます。

今後とも皆様方の懸命に生きる多くの手となり、足となり、声となる様、精一杯の力を尽くし、ご意見を国政に反映させ、国および長崎県民のために頑張ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

現在、衆議院議員として3期ですが、衆議院農林水産委員会委員、衆議院海賊・テロ対策特別委員会委員、更には自由民主党総務会副会長、水産部会副部会長、経済産業部会副部会長、農林部会林政小委員会委員長、離島振興特別委員会副委員長などの要職を務めて、日夜国政の重要案件に取り組んでおります。

新年にあたり、私は将来の日本を見据え、国政への思いを新たにして、激動の時代だからこそ、日本の歴史と伝統を大切にすることを基本に、しっかりと地に足をつけ、わが国の歩むべき道筋となる姿を明示する大きな社会ビジョンを提起しながら、飽くまで目線を低く生きた言葉で理想を語ることが政治家に課せられた使命であると確信しています。

今後とも、国民の底力に信頼を寄せつつ、毎日を必死に生きておられる皆様方に一筋の光を当てるのが政治の役割であり、使命、責任であろうと思い、信ずるところを歩み続けることをお誓いし、粛々と政治の正道を歩んで参る決意でございます。

平成24年が皆様にとりまして、ご健勝とご活躍とご平安の一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

平成24年

衆議院議員 谷川 弥一

衆議院議員 谷川 やいちさん

五島市で「新たな離島振興法の制定実現を求める総決起大会」開催

長崎県・長崎県離島振興協議会　全離島事務局

離島における道路や港湾整備などの社会基盤整備をはじめ、離島振興に多大な貢献を果たしてきた離島振興法の平成25年3月末失効を前に、長崎県と長崎県離島振興協議会（白川博一会長、壱岐市長）は去る平成23年8月19日（金）、五島市福江総合福祉保健センターにおいて「新たな離島振興法の制定実現を求める長崎県総決起大会」を開催した。

総決起大会には、中村法道長崎県知事、北村誠吾衆議院議員（自民・九州比例区）、谷川弥一衆議院議員（同・九州比例区）、大久保潔重参議院議員（民主・長崎）、白川博一壱岐市長、中尾郁子五島市長、財部能成対馬市長、井上俊昭新上五島町長、西浩三小値賀町長のほか県内離島市町関係者約340名が出席し、離島の人口減少に歯止めをかけ、地域の創意工夫による離島振興が図れるよう、従来にない思い切った振興策を盛り込んだ新たな離島振興法の制定を求める決議を採択した。なお、離島振興法は、わが国昭和28年に制定された10年間の時限立法で、これまで五次にわたる改正延長を重ねている。

中村知事はあいさつで、離島振興法の果たしてきた役割と成果を評価するとともに、離島地域の人口流出に歯止めがかからない現状などから、このままでは離島の国家的役割が果たせなくなる可能性について言及した。

離島振興法の改正延長に向けては、「しまは日本の宝」戦略として進めている県の離島振興政策を鑑み、離島航路運賃の低廉化、ガソリン・軽油などの石油製品の本土との価格差是正、離島の自立的発展に帰する離島振興一括交付金や離島振興債の創設といった従来の離島振興施策よりも一歩も二歩も踏み込んだ支援施策、あるいは制度、財政対策などについて要請していく意向を示した。とくに長崎県では、県内の全離島のうち面積・人口ともに九割以上を国境離島が占めていることから、わが国の領域、排他的経済水域（EEZ）などの確保・安全、海洋資源の利用など大きな国家的役割を担う国境離島に対しての、国庫補助率の嵩上げ、税の軽減措置といった手厚い支援策を要望した。

来賓のあいさつで、谷川弥一衆議院議員は、「離島には成長産業がなく、雇用の場がなくなっていることが問題」とし、働く場の確保とともに安定に向けた離島航路運賃（輸送コスト）など離島の不利条件の解消などを呼びかけた。（季刊「しま」2011年10月号より抜粋）

谷川やいちさんのアンケート（質問3部分）が週刊文春（2011年7月28日号）に掲載

あなたは「原発」をどうしますか？
「衆参」国会議員721人・緊急アンケート

2011年6月1日、衆議院経済産業委員会で、海江田万里経済産業大臣に日本の将来像をめぐって質問した

質問1　7月13日に菅総理が行った「脱原発」会見を評価しますか？
A　評価する　（B　評価しない）

質問2　質問1でAもしくはBと答えた理由をお聞かせください。
・代替案がないので産業の空洞化、雇用の消失、貿易赤字、経常収支赤字、金利上昇、国債暴落、超インフレと続く

質問3　「脱原発」（日本で原発が一機も稼働していない状態）を目指すべきだと思いますか？
A　目指すべきだと思う
（B　目指すべきではない）
安全で事故が起きない原発を開発するべき

質問4　質問3でAと答えた人は…
（以下省略）

質問5　「脱原発」解散について、どう思いますか？
A　すべきだと思う
（B　すべきではないと思う）

雇用の確保、安心した生活!!

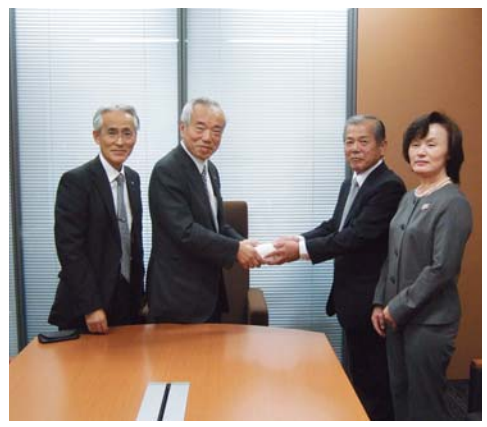
川端勲漁連会長と有明海・八代海再生プロジェクトで協議

長崎県第三選挙区支部大会で支部長として挨拶

山中勝義農協中央会会長、各組合員とTPP交渉参加・断固阻止で陳情を受ける

谷垣禎一総裁・石原伸晃幹事長に九州新幹線（長崎ルート）の整備促進を要望〈2011.7.21〉

地域の活性化と発展を力強く推し進めます!!



東彼杵町長渡邊悟さん。新嘗祭献穀納式のお米を東坂虎松さん、節子さん夫妻より進呈された

大島理森副総裁に九州新幹線（長崎ルート）の整備促進を要望〈2011.6.15〉

2011年3月9日、衆議院農林水産委員会で鹿野道彦農林水産大臣に諫早湾干拓事業について質問した

離島振興（白川博一壱岐市長）過疎地域自立促進（井上俊昭新上五島町長）より要望

衆議院議員谷川やいち議員からのメッセージ

長崎県水難救済会の救助実績と現状

長崎県水難救済会会長　谷川　弥一

はじめに、３月11日に発生しました東日本大震災により、亡くなられた方々、被災を受けられました皆様に対し、心より御見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を心よりご祈念申し上げます。

次に、長崎県水難救済会会長として、長崎県水難救済会の救助実績と現状について申し述べてみたいと思います。

特定非営利活動法人長崎県水難救済会は、本年４月現在、県下65救難所・51支所、所員5,131名を擁する全国でも有数の規模を誇る組織となっております。また、救助実績はここ数年全国１位という輝かしい実績を残しております。これもひとえに崇高なボランティア精神のもと海難の現場で救助活動にあたっておられる救難所の皆様の努力と、県当局をはじめとする関係者のご支援の賜物であり心から感謝申し上げる次第です。

さて、長崎県は北海道に次ぐ長い海岸線を有し、沿岸部では漁業活動やマリンレジャー活動が活発に行われており、毎年多くの海難事故が発生している状況にあり、当会に対する県民の皆様の期待も高まっているところであります。

このような中、長崎県救済会の本年度事業方針としては、水難事故の救済活動と水難事故の予防活動を主体に、その使命達成に向け全力を尽くすとともに、県民の皆様の要請に速やかに対応できますよう救難体制の整備にも努めることとしております。

具体的には、各救難所・各救助員の意思の統一とチームワークの確立です。長崎県内を各ブロックに分け、救難所・救難支所による会議を開催し、救難所活動等の問題点を討議・研究するとともに、救難所実地訓練等を行い、各救難所員の救助技術と士気の向上等を図っています。

２つ目は、若者の水難救済ボランティア教室を開催し、特に自意識の強くなる小・中学生を対象に、水難事故の防止と救助方法、水難救済ボランティア活動思想と救難所活動への理解を広めるとともに、海上保安部等と合同で漁業・プレジャーボート関係者を対象とした海難防止講習会を開催しているほか、各種団体等が企画する各種行事にも積極的に参加し、心肺蘇生法の実演・講習を行うなど、一般市民参加型の普及・啓発活動に努めています。

当会の活動は、ボランティア精神に基づくもので、現場の救助活動に当たる救難所員のご苦労は計り知れないものがありますが、県民の皆様方の期待に応えられますよう努力してまいりますので、関係者の皆様方におかれましても、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。皆様方のご意見を国政に反映させ、国及び長崎県のために頑張って参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。

水産庁12年度概算要求

衆議院議員（自民党）
党水産部会副部会長
党農林水産関係団体委員会副会長
谷川　弥一（比例九州）

2012年の水産予算概算要求での「水産基盤整備事業（公共）」の概算要求額は1253億円。（復旧・復興対策要求額を含む）要求・要望額は761億円で、うち要求額が651億円、日本再生重点化措置の要望額が110億円。復興対策要求額は492億円。

漁港・漁場の復興でめざせ！「新しい漁村」のモデルケースに

そこで、谷川やいち議員の「政策提言」がみなと新聞に掲載されました。

東日本大震災から早や８カ月が経過いたしました。被災地はようやく本格復興へと大きく踏み出すことができそうです。被災地の水産業の再生なくして、日本の水産業の再生がないことは言うまでもありません。

一方、離島漁業の再生も避けて通れない問題です。離島周辺水域が重要な産卵場、索餌場であり、日本の水産資源にとって重要な役割を果たしていることは周知の通りです。離島の漁港漁場の整備はそうした意味から非常に重要な施策ですが、安全保障の観点からも極めて重要です。被災地の水産業を復興させるとともに、離島漁業を再生させるために、今後も努力を重ねてまいる所存です。

みなと新聞（2011年11月25日付）

衆議院議員 谷川やいちさんプロフィル

昭和16年８月12日
長崎県五島市岐宿町生まれ

昭和62年４月	長崎県議会初当選（以来５期）
平成15年５月	長崎県議会議長就任
平成15年11月	衆議院議員初当選（以来３期）
平成19年６月	自由民主党長崎県連　会長
平成19年８月	農林水産大臣政務官就任

これまでの主な役職

衆議院所属委員会

農林水産委員会	理事
青少年特別委員会	理事
予算委員会	委員
農林水産委員会	委員（現職）
海賊・テロ対策委員会	委員（現職）

自民党

総務会副会長	（現職）
副幹事長	
農林部会	部会長代理
水産部会	副部会長（現職）
経済産業部会	副部会長（現職）
林政小委員会	委員長（現職）
離島産業再生小委員会	委員長
離島振興特別委員会	副委員長（現職）

谷川　やいち事務所
〒856－0826　長崎県大村市東三城町６－１－２階
TEL0957－50－1981　FAX0957－53－1542
お気軽にお越しください

あなたの声をお聞かせください!!
・五島事務所　TEL0959－72－8400　FAX0959－72－6021
・新上五島事務所　TEL0959－52－4656　FAX0959－52－4666
・壱岐事務所　TEL0920－47－3775　FAX0920－47－3721
・対馬事務所　TEL0920－52－1123　FAX0920－52－1156

長崎県第三選挙区
大村市・五島市・壱岐市・対馬市・新上五島町・東彼杵町・川棚町・波佐見町

谷川やいちオフィシャルサイト　http://www.tanigawa81.jp/